

Sunstar Group Report

サンスターグループ報告書
2023年1月～12月

2024



Our Purpose

Mission and Vision

お口の健康を起点とした健康や美の追求と
快適な生活空間・移動空間づくりで

「幸せな人生と健やかな未来を築く」



サンスターとは

サンスターグループは、オーラルケア、健康食品、スキンケア、ヘアケア、家庭用品、室内空気質改善製品、自動車・建築・電子機器用接着剤・シーリング材、バイク用金属部品などをグローバルに製造・販売する企業グループです。これら製品・サービスの提供を通して、お口、からだ、からだの周りの空気環境、居住空間、移動空間で、健康で快適な生活をサポートしています。私たちは、お口の健康を起点とした健康や美の追求と快適な生活空間・移動空間づくりで「幸せな人生と健やかな未来を築く」ことを目指しています。

サンスターグループの成り立ち

サンスターは1932年、自転車が憧れの乗り物だった時代に、自転車部品やパンク修理用のゴム糊の卸売業で創業しました。ゴム糊を小型の金属チューブに入れて使いやすとした商品がヒット。その後、ゴム糊の金属チューブ容器の製造設備を活用して、粉歯磨が主流だった時代に練歯磨剤を発売したことが事業の飛躍につながりました。そしてオーラルケア、化粧品、健康食品などの消費財事業へと発展させました。自転車用部品やゴム糊の事業は、より市場成長が見込めると考えたバイク用金属部品や自動車・建築・電子機器用接着剤・シーリング材などの事業にシフトし生産財事業として発展させました。このように、ケミカル技術、金属加工技術、製品の容器・包装材製造技術の強みを活かして、新製品・新事業の創造にチャレンジし業容を変化、拡大させてきました。また、常にグローバルに視野を広げ、世界最先端の知見を持つ専門家や協業先企業との交流や協業を進め、お客様のニーズを満たす新たなソリューションを開発し続けてきました。





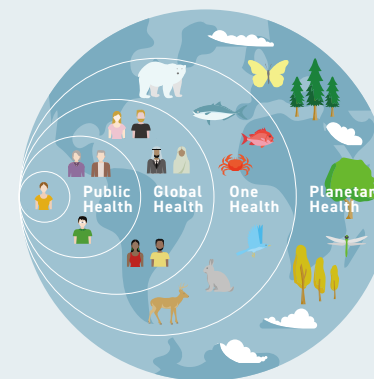
「幸せな人生と 健やかな未来を築く」ために

サンスターグループ代表
金田 善博

地球温暖化、自然災害、感染症など環境・社会課題への対応に加え、2023年以降は世界各地で起きている紛争の影響で、エネルギー・輸送・原材料費が引き続き高騰し、厳しいビジネス環境が続いています。こうした中でサンスターグループは、これまで培ってきた強みを活かし、消費財事業と生産財事業を通して環境・社会課題の解決に寄与する事業展開と、健全な事業運営による「Well-being & ESG(環境・社会・ガバナンス)経営」を進めています。

2023年は、消費財事業では全身の健康増進にはお口のケアが重要であることを広く啓発することで、中南米、欧米でのG・U・Mブランド事業が持続的に成長しました。生産財事業でも、自動車業界の脱炭素化に寄与するソリューションの提供などにより、自動車用接着剤を含む全事業で売上と利益を拡大しています。また、日本での洗口液ボトルへの植物由来原料導入や、ドイツ、シンガポールの工場への太陽光発電パネルの稼働など、温室効果ガス排出削減にも積極的に取り組み始めました。

今後も、世界の人々の「幸せな人生と健やかな未来を築く」ことを目指し、お客様視点に立った満足度向上と新しい価値の提供、環境・社会課題解決への貢献、そのためにも事業構造・組織風土の改革、人材・組織力強化をすすめ、事業の持続的な発展と企業価値向上を図ります。そして、創業100周年に向けたサンスターグループ長期ビジョンや環境中長期目標実現への取り組みを加速し、太陽や星のように、世界に欠かせない存在価値の高い企業として持続的に成長していくことをお約束します。



サンスターのWell-being & ESG経営

	E (環境)	S (社会)	G (ガバナンス)
機会創出	<ul style="list-style-type: none"> 環境課題解決製品・事業開発 低環境負荷工程開発 物流の効率化 梱包資材削減 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と美をつくる生活習慣づくり 室内空気質改善 建物・移動体の快適性・安全性向上 地域社会の健康増進支援 	<ul style="list-style-type: none"> M&A 投資戦略 資金調達 資金運用
SDGsへの貢献	<p style="text-align: center;">世界の人々と地球のWell-beingに貢献する事業</p>		
危機回避	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出削減 低環境負荷原材料 資源循環 廃棄物削減 環境汚染防止 生物多様性保全 	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質管理 お客様対応 従業員と取引先の人権尊重 従業員の働きがい向上 健康経営 地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 財務の健全性 税の透明性 企業統治の健全性 リスクマネジメント コンプライアンス



Sunstar Group Long-Term Vision 2032

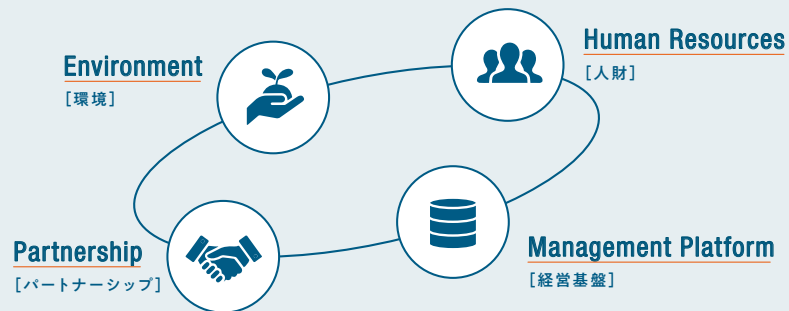
[サンスターグループ長期ビジョン]

2032年のありたい姿

人々の健康寿命の延伸と生活の質(QOL)向上に向けて、予防医療やウェルネスの観点からお口の健康を起点とした全身の健康増進に寄与する製品・サービスを創造する。そして、建物やモビリティを含むあらゆる生活環境において、人々が心身共に健やかで快適な生活を一生を通じて送れるようトータルサポートし、世界で最も信頼できる企業の一つとして認められている。



2032年のありたい姿を目指した事業を通して、社会課題の解決に貢献します。同時に、社会から求められている、事業における環境負荷低減、社員の人財育成と幸福度向上、健全な経営基盤の確立に、ステークホルダーとのパートナーシップを通して優先的に取り組みます。



Sunstar's SDGs Key Goals サンスターのSDGs重点目標



お口の健康から全身の健康、そして人を取り巻く環境まで、健やかな暮らしに役立つ製品やサービスを提供します。



建物やモビリティを含むあらゆる生活空間において人々の快適で安全な生活をサポートします。



調達、製造、物流、販売、生活者が製品を使い終えた後まで、製品ライフサイクル全体を通して廃棄物の発生防止、削減、再利用に努めます。



カーボンニュートラル実現への貢献として、原材料、製品、製造、輸送などサプライチェーン全体でCO₂排出削減に努めます。

*SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標):国連が2030年に向けて、経済・環境・社会のバランスが取れた持続可能な世界の実現を目指して加盟国と宣言した17の目標。

サンスターグループのSDGs重点目標にゴール13を追加

サンスターでは、国連が掲げるSDGs達成への貢献を目指し、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール12「つくる責任、つかう責任」をSDGs重点テーマとしていました。2023年秋、これにゴール13「気候変動に具体的な対策を」を新たに追加しました。下の図は、SDGsの17の目標の関係性を3層構造で表したもので、「環境」の土台がなければ「社会」も「経済」も成り立たないことを示しています。近年、サンスターにおいて、カーボンニュートラル(CO₂排出量実質ゼロ)達成への貢献として製品・包装材の石油由来プラスチック削減や、再生可能電力導入によるCO₂排出削減などに力を入れはじめたことから、SDGsにおいて最も優先される「環境」分野の中のゴール13を重点目標に掲げることとしました。



出典:「The SDGs wedding cake」(Stockholm Resilience Center)

事業を通じたSDGsへの貢献

サンスターは、4つのSDGs重点目標を掲げ、主に消費財事業でゴール3、生産財事業でゴール11、全事業共通でゴール12・13に貢献し、持続可能な未来と人々の幸せな人生を支えます。

消費財事業

オーラルケア、スキンケア、ヘアケア、健康食品、家庭用品などで、お口の健康から全身の健康、そして人を取り巻く環境まで、健やかな暮らしに役立つ製品やサービスを提供し、SDGsゴール3「すべての人に健康と福祉を」に貢献します。



サンスターがゴール3の課題解決に貢献するためのキーワード

- ・年代・症状に応じたお口の健康増進製品・ソリューションの提供
- ・健康食品・ヘアケア・スキンケア・室内空気質改善による健康習慣づくり
- ・オーラルフレイル(口の虚弱化による老化)予防啓発と関連製品の提供
- ・災害時の誤嚥性肺炎予防、防災備蓄の啓発と関連製品の提供
- ・人間の持つ自ら健康になろうとする力を引き出す製品、心身の健康づくり
- ・IoT、AIなどのデジタル技術を活用した健康習慣づくり
- ・口腔内細菌叢・腸内細菌叢の研究を活かした健康増進ソリューションの提供

生産財事業

自動車・建築・電子機器用接着剤・シーリング材、バイク用金属部品、室内空気質改善製品などで、建物やモビリティを含むあらゆる生活空間において人々の快適で安全な生活をサポートし、SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」に貢献します。



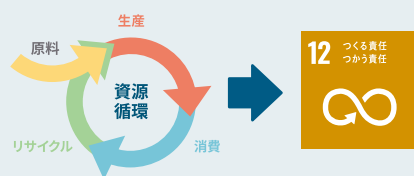
サンスターがゴール11の課題解決に貢献するためのキーワード

- ・地震、自然災害、火災に強い建物づくりに貢献する建築資材の提供
- ・建物の長寿命化、メンテナンス性改善に貢献する建築資材の提供
- ・建物の改修工事、解体の際の廃棄物削減に貢献する建築資材の提供
- ・移動体の耐久性・安全性向上に貢献する接着剤、金属部品の提供
- ・移動体の脱炭素化による持続可能性向上に貢献する接着剤、金属部品の提供
- ・室内・車室内の騒音・振動の抑制に貢献する接着剤、金属部品の提供
- ・室内・車室内の空気質の向上に貢献する接着剤、除菌脱臭ソリューションの提供

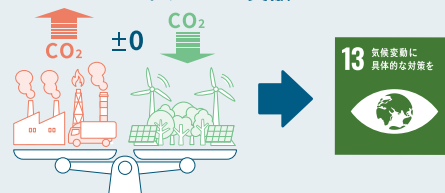
全事業共通

全事業を通じて、調達、製造、物流、販売、廃棄にいたる製品ライフサイクル全体を通して廃棄物の発生防止、削減、再利用、CO₂排出削減に努め、SDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」に貢献します。

サーキュラーエコノミーへの貢献



カーボンニュートラルへの貢献



サンスターがゴール12、13の課題解決に貢献するためのキーワード

- ・製品の設計段階から廃棄物削減、CO₂削減への貢献を考えたものづくり
- ・製品・容器・包装材への植物由来原料、リサイクル材料の採用比率向上
- ・製造、販売、製品の使用、廃棄における廃棄物削減とリサイクルのしくみづくり
- ・事業活動全般での温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギー採用比率向上

Overview [企業概要]

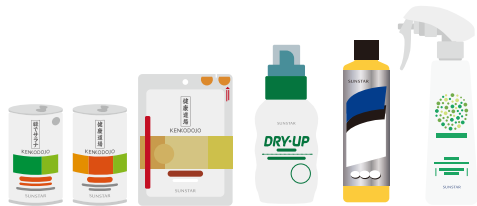
消費財事業

ハミガキ・液体ハミガキ・洗口液
ハブラシ・歯間清掃具
電動ハブラシ・IoTハブラシ
マウススプレー
歯科用オーラルケア製品
矯正・義歯用オーラルケア製品

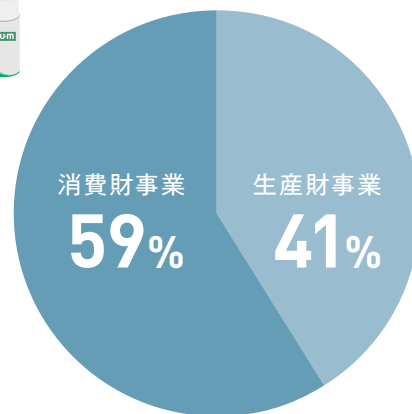


オーラルビューティケア
スキンケア
美容食品
フェイシャルサロン
ボディケア
ヘアケア

健康飲料
健康食品
家庭用洗剤
ハウスダスト対策スプレー
ファブリック用スプレー



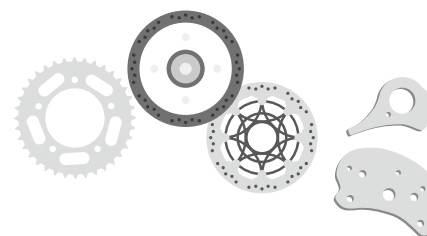
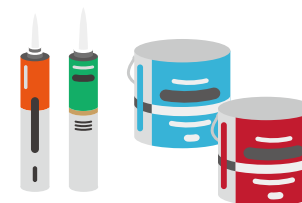
事業別売上比率



2023年度

生産財事業

自動車用接着剤・シーリング材
建築用接着剤・シーリング材
電子部品用接着剤
FIGP (塗布型発泡ガスケット)



バイク用金属部品
(スプロケット、ブレーキディスク等)
自動車用部品
各種金属部品

除菌脱臭機
除菌消臭スプレー



事業拠点



従業員数



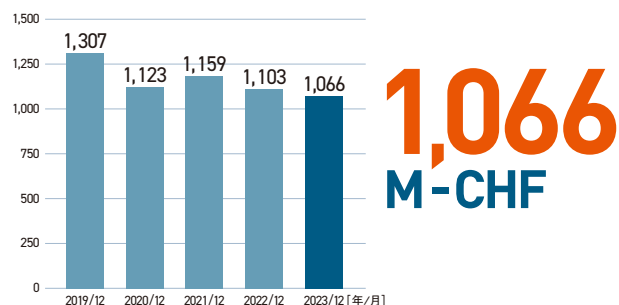
Group Business Performance 2023 2023 【2023年度サンスターグループ業績】

2023年度の業績は、スイスフランによるグループグローバル連結の純売上・営業利益は下記の結果となりますが、現地通貨ベースのエリア別純売上では、アジアを除く米州、欧州、日本で前年度を上回りました。為替の影響を除くと、実質的な売上は前年の11億300万スイスフランから6,600万スイ

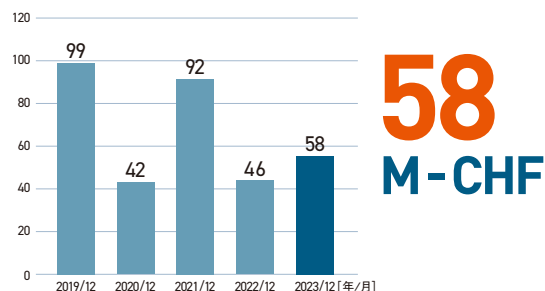
フランの増加(5.9%増)、営業利益は前年の4600万スイスフランから2000万スイスフランの増加(48%増)とみることができます。

本レポートに記載の財務情報は、国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

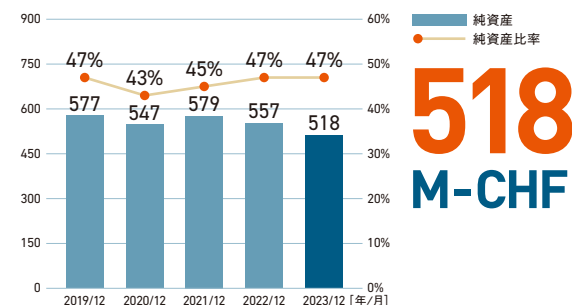
純売上 (百万スイスフラン)



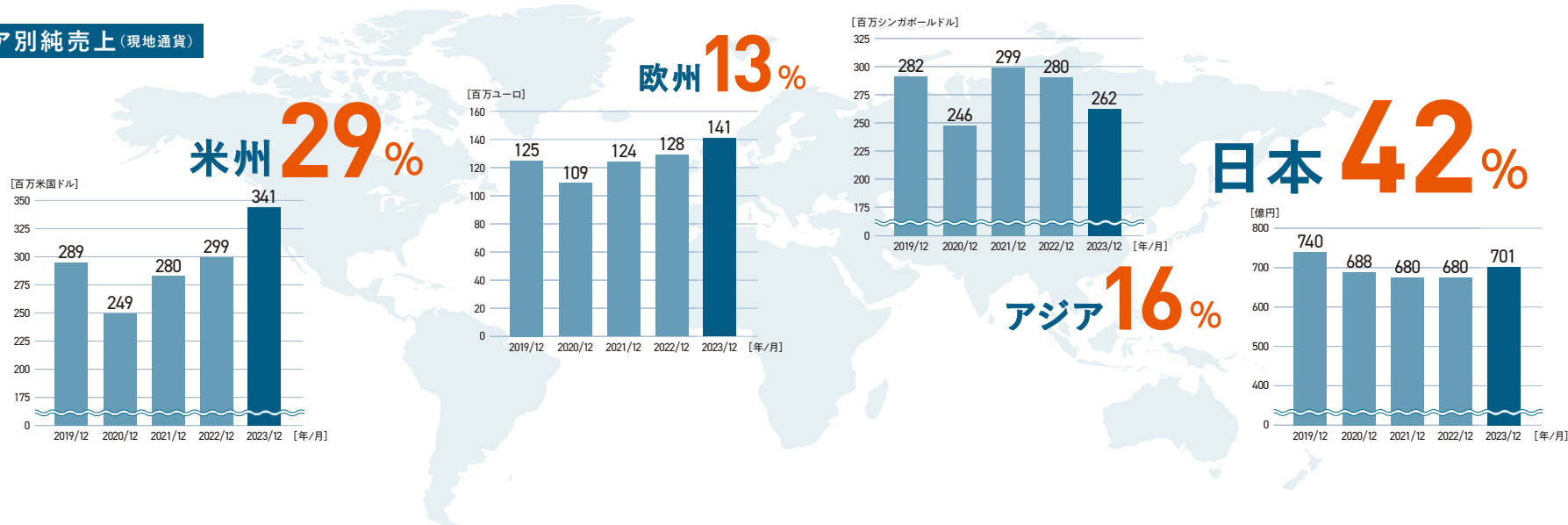
営業利益 (百万スイスフラン)



純資産と純資産比率 (百万スイスフラン)



エリア別純売上 (現地通貨)



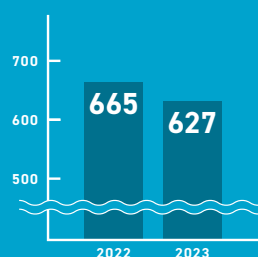
Consumer Business

[消費財事業]

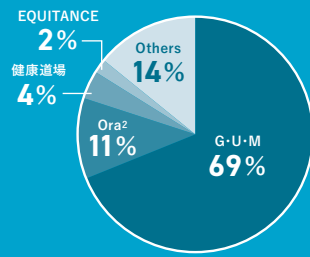
Oral Care

Beauty Care

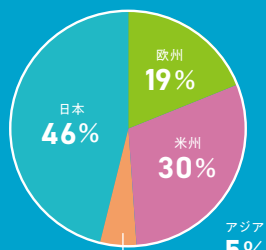
Health Care



売上推移(百万スイスフラン)



ブランド別売上構成比率



エリア別売上構成比率

消費財事業〈2023年度概況〉

2023年度は、紛争長期化の影響でエネルギー、輸送費、原材料費の高騰が続く中、欧州、米州では2年連続で売上が伸長、日本、アジアでは減収となりました。ここ数年、中南米では継続的に事業が拡大しており、2023年も、メキシコ、アルゼンチンなどで、歯間清掃具や子ども向け、矯正患者向けなど注力分野を明確にした効果的なマーケティング展開や、G・U・Mブランドの認知拡大、お口と全身の健康啓発などが事業拡大に寄与しました。欧州では各国の販売が好調で、製品カテゴリーでは歯間清掃具、電動ハブラシの売上が好調でした。

今後の展望

消費財事業は、人生100年時代、お客様がいつまでも健やかで幸せな人生を過ごせるよう、お口の健康を起点とした全身の健康増進と、食生活、美容や生活環境も含めた心身ともに健やかで心豊かな暮らしづくりに貢献することを目指しています。

近年、感染症、度重なる自然災害、高齢者数の増加などの背景もあり、全身の健康と密接に関連するお口の健康の重要性が高まっています。サンスタグループでは、歯科専門家や地域コミュニティとの協働でオーラルケアの重要性を広く啓発しながら、日米欧亜の地域ごとに年代や市場ニーズに合わせたオーラルケア製品の開発を加速します。デジタル技術で歯みがき習慣づくりをサポートするPlaybrushのG・U・Mブランドでの欧州展開拡大、生産体制も含めたサプライチェーンの再構築や、新興市場のさらなる開拓を進めます。日本では、スキンケア市場の新たなニーズへの対応、新規事業への参入など、お客様の全身の健康課題解決にも取り組みます。

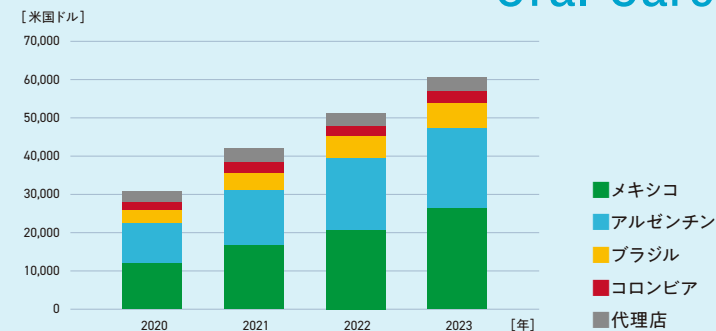
さらに、製品やパッケージに多く使われているプラスチックへの植物由来原料比率の向上、リサイクル材採用拡大、健康にも環境にもよい製品の開発、事業活動全般における環境負荷低減など、環境に配慮した対応も積極的に進めていきます。

Oral Care

消費財クローズアップ「中南米オーラルケア事業の躍進」

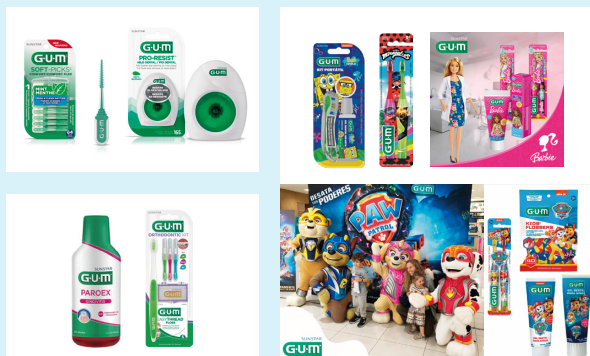
G・U・Mブランド認知拡大と健康維持における オーラルケアの重要性啓発で事業が拡大

サンスターのオーラルケア事業の中で、近年、中南米地域の事業拡大が目覚ましく、過去3年間で45%の増収を達成しています。この地域では、子ども用ハブラシと歯間清掃具を強みとして市場開拓を進め、市民や歯科専門家向けに、G・U・Mブランドの認知拡大と健康維持におけるオーラルケアの重要性啓発のための様々な取り組みを展開しサンスターの存在感が高まっています。



歯間清掃具や子ども向けハブラシを強みに 市場での存在感が拡大

他社がハミガキ、ハブラシに注力した戦略をとる中、サンスターは、歯間清掃具、子ども向けハブラシに注力してシェアを拡大してきました。特に、子ども向け製品では、人気のキャラクターを採用し、製品バリエーションを豊富に展開、他社を上回るシェア拡大を達成しました。また、メキシコでは健康なハグキ維持のためのParoex、アルゼンチンでは歯科矯正患者向け製品など、サンスターの特長ある製品の育成にも努めています。



屋外広告、イベント、デジタル広告で G・U・Mブランドの認知を拡大

メキシコでは、イベント会場など様々な場所で屋外広告やキャンペーンを展開、積極的にG・U・Mブランドの認知拡大に努めています。また、毎日のオーラルケアに歯間ブラシを加えることの重要性を啓発する「Change your Denticity」キャンペーンも開始しました。アルゼンチンでは、SNSとEコマースを連動した各種キャンペーン、スマホアプリなど多彩なデジタル施策展開で事業を拡大しています。



歯科専門家、歯科医院、歯科学校と連携し 健康維持におけるオーラルケアの意義を啓発

各国の歯科学会や歯科展示会において、サンスター製品の展示や歯科専門家を招いた講演会などを積極的に行っています。アルゼンチンやメキシコの主要な大学や歯科学校ではサンスターによる予防歯科の講義を継続的に行い、オーラルケアの重要性啓発と、サンスター製品への理解促進を進めています。こうした活動がサンスターの社会的な存在価値を高め、事業拡大にもつながっています。



Oral Care



[ハミガキ／洗口液／ハブラシ／歯間清掃具／歯科治療製品]

欧州で歯間清掃具のラインナップとマーケティング展開を強化し売上を拡大

欧州では、ゴムタイプ毛でより柔らかく本数を大幅に増やして清掃性を50%向上(自社比較)させたガム・ソフトピックプロを新発売してラインナップを強化し、SNS、テレビ、店頭をカバーする360°啓発キャンペーンなど歯間清掃の重要性を広く伝えることで、G・U・Mブランド認知と売上の拡大につなげました。



コネクテッドヘルスケア分野の強化としてPlaybrushをG・U・Mブランドに統合

デジタル技術でよりよい歯みがき習慣づくりをサポートするスマートハブラシとして2021年にサンスターグループに加わったPlaybrushをG・U・Mブランドに統合して再スタート。これまでのオーストリア、ドイツに加えて、フランス、イタリアをはじめ欧州各国に拡大展開する準備を整えました。



欧州でヴィーガンとオーガニックの認証を受けたガム・ビオマウスウォッシュ発売

99%天然成分から作られ、欧州V-Label、エコサートCOSMOS認証など3つのヴィーガン、オーガニック認証を受けたガム・ビオマウスウォッシュを新発売。さわやかなペパーミントの香味と、歯ぐきをケアする抗菌作用と抗炎症作用のあるアロエベラ、歯質を強化してむし歯を予防するフッ素などを配合。ガム・ビオハミガキと合わせて天然由来にこだわる生活者のニーズにこたえるシリーズが完成しました。



日本でガム・ラボシリーズなど歯周病ケアの高価格帯製品を拡充

日本では、歯周病菌の増殖を抑える機能を付加して2022年に発売したガム・プラスデンタルペーストがシェアを伸長。さらに、歯周病によるハグキ下がりに着目したガム・ハグキラボシリーズのハミガキペーストとハブラシ、歯周病予防と知覚過敏症状に対応したガム・知覚過敏ラボデンタルペーストを新製品として発売、高価格帯のラインナップを強化しました。



Beauty Care



[スキンケア製品／ヘアケア製品／オーラルビューティケア製品]

外出需要増でOra2の 携帯オーラルビューティケアアイテムが好調

脱マスクおよび外出需要の高まりによって、携帯用アイテムが好調です。オーラツーミー マウスブレー（口中清涼剤）、オーラツーミー ポータブル（携帯ハミガキセット）が売上を伸ばしました。



エクイタンスから 見た目年齢対策に強い味方が新発売

美容ブランドEQUITANCE（エクイタンス）から、シワ改善成分有効型ナイアシンアミド配合の薬用しわ改善クリーム「エクイタンス リンクルアプローチEX」を発売。今ある年齢ジワまで立体的に改善することが注目を集めました。



Health Care



[健康飲料／健康食品／ハウスホールド製品]

健康道場の健康食品、 お客様とのつながり強化で売上増加

空港や百貨店など様々な集客スポットでのポップアップストア販売回数を1.3倍に増やした結果、ストアでの成約が1.7倍に伸長しました。また、Instagramでのコミュニケーションを強化し、野菜飲料愛飲者によるアンバサダー企画を実施。フォロワー数が前年の2.3倍に成長するなど、お客様とのエンゲージメント向上にも努めました。



野菜飲料初の 日本災害食認証取得

緑黄野菜をはじめとする健康道場の野菜飲料など6品が、災害時の栄養摂取に役立つ製品として一般社団法人日本災害食学会による日本災害食認証を取得しました。野菜飲料としては初の認証取得となり、平常時も非常時も栄養バランス維持に役立つ製品として認知が拡大しています。



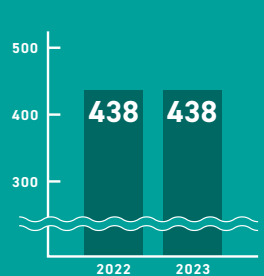
Industrial Business

[生産財事業]

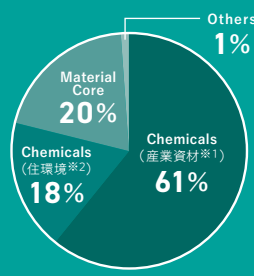
Chemicals

Material Core

E-Science

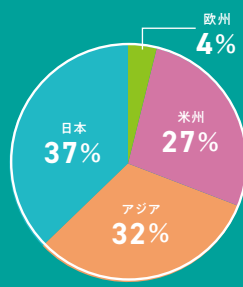


売上推移(百万スイスフラン)



分野別売上構成比率

※1 自動車用・電子部品用接着剤など
※2 建築用シーリング材など



エリア別売上構成比率

生産財事業〈2023年度概況〉

2023年度は、ウクライナや中東の紛争による影響で一部市場での売上減少があったものの、自動車業界の脱炭素化といった市場ニーズへの対応や、金属部品事業のエリア拡大、原材料価格の落ち着きなどもあり、為替の影響を除く生産財事業トータルの実質的な業績は前年比で増収増益となりました。

自動車用・電子機器用接着剤において、市場別では北米での日系自動車メーカー向け、中国・欧州自動車メーカー向けが特に拡大し、製品別では車載大型ディスプレイやカメラ用、車室内の騒音・振動抑制用途や電気自動車のバッテリーケース用途の接着剤などが好調でした。建築用シーリング材・接着剤では、日本の大型半導体工場向けや中国の大型建設物件向けの販売が好調、また建築業界での環境ニーズに対応しリサイクル容器の開発も進めました。金属部品では、米国・中国・欧州の大型バイクや日本・アジアでのアフターマーケット向けのブレーキディスクや、欧米自動車メーカー向けの金属部品の受注拡大により売上を伸ばしました。新規事業では、QAISブランドの光触媒除菌脱臭機を日本に加えてアメリカ、中国での発売を開始するなど、世界で拡大するペット市場の開拓にチャレンジしています。

さらに、再生可能電力比率向上による温室効果ガス排出削減に向け、シンガポールとドイツの製造拠点に太陽光発電パネルを設置しました。

今後の展望

生産財事業は、世界の人々の健康・快適で安全な生活空間・移動空間づくりと環境負荷低減に貢献することを目指しています。接着技術・金属加工技術の強みを生かして既存事業の競争力強化と販売エリア拡大、周辺領域への事業開拓を進め、新規事業として室内空気質改善事業などの暮らし環境事業創出に努めています。

自動車・電子部品用接着剤では、自動車業界のカーボンニュートラル化に合わせた軽量化、電動化に伴う新規接着剤需要を捉えた技術開発と生産能力増強を進め、欧州・中国や新興国メーカーへの顧客開拓も進めます。建設用シーリング材・接着剤では、内装用接着剤など取扱製品の拡大、作業効率の高い1液型製品の拡充、中国事業の強化、容器の環境対応などを進めます。金属部品では、中国・インド向け大型バイク、高級自転車、Eバイク、小型EV用のブレーキディスク、四輪、船外機など金属部品領域の拡大により事業成長を目指します。室内空気質改善事業ではペット向け製品の機能向上とグローバル展開の加速により事業拡大を図ります。

さらに、自社工場への再生可能電力導入や低環境負荷の製造プロセス開発を進め、カーボンニュートラルへの貢献にも取り組みます。

Chemicals

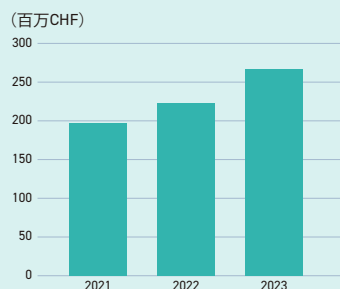
生産財事業クローズアップ「自動車用接着剤」

接着剤事業が自動車業界の

3つの需要を取り込んで大きく伸長

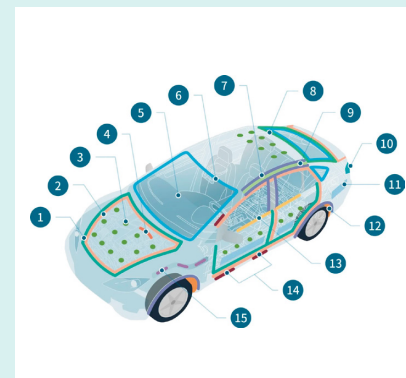
ここ数年、自動車用接着剤事業が顕著に伸長しています。サンスターは、各自動車メーカーの異なる要望にきめ細かく対応する製品開発力を強みとし、その結果、多品種の接着剤を提供しています。この顧客対応力を活かして、近年は、①脱炭素化、②快適性向上、③新興メーカー対応などの新たなニーズへの先行提案や顧客企業が望む機能を実現する最適なソリューションの提供が事業拡大につながっています。

【自動車用接着剤 売上推移】



【サンスターの自動車用接着剤】

- ①ヘミング用接着剤
- ②ボディシーラー
- ③マスキング接着剤
- ④電子機器用接着剤
- ⑤内装用接着剤
- ⑥ウインドウガラス用接着剤
(ダイレクトグレーズ)
- ⑦構造用接着剤
(ウェルドボンド)



- ⑧液体塗布UV硬化マスキング材
- ⑨スポットシーラー
- ⑩発泡ガスケット (FIGG)
- ⑪塗布型板金補強材 (PSS)
- ⑫アンダーボディコート
- ⑬熱硬化弾性接着剤
- ⑭塗布型防音発泡材 (PSD)
- ⑮発泡充填材

①自動車のカーボンニュートラル対応や
運転支援システムなどの電子化に接着剤で貢献

自動車の組立において溶接・ネジ止めを減らし、接着剤の使用を拡大することは、車体軽量化・燃費向上に有効で、CO₂排出削減に貢献でき、サンスターの接着剤の活躍の場も広がっています。これに加え、カーボンニュートラル(CO₂排出実質ゼロ)に向け自動車業界の脱炭素化への取り組みが加速する中、2023年も、EVバッテリーケース用途で、欧州車メーカー各社にはFIGG(塗布型発泡ガスケット)、日本車向けにはウレタン系接着剤の採用が拡大しました。また、運転支援システムなど自動車の電子制御が進み、大型表示画面や車載カメラ用途の接着剤の採用も広がりました。



※イメージ

②騒音・振動・においを抑え
快適な移動空間づくりに貢献

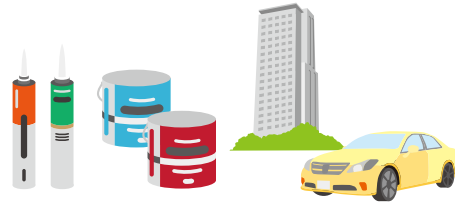
サンスターの自動車用接着剤は車の振動抑制にも定評があり、車体の軽量化・騒音・振動抑制に貢献する構造用接着剤も採用が拡大しています。2023年は日本の高級車向けに塗布型発泡遮音材の販売も拡大しました。また、車室内内装向けにのびにくい水性接着剤も好評で、新たに電気自動車メーカーに採用されるなど、車室内の快適性向上に各種接着剤で貢献しています。

③グローバル生産体制・連携の強化で
欧州・中国に顧客が拡大

ここ数年、米国での接着剤生産能力増強、欧州、インドネシアへの接着剤生産拠点新設、日米欧亜の開発・生産・営業拠点間連携を強化してきました。2023年はこれらの成果として、北米生産拠点での日系自動車メーカーの受注が拡大、また、中国、アジア、欧州拠点での欧州・中国自動車メーカーへの受注が拡大しました。



Chemicals



[自動車用・電子部品用・建築用 接着剤／シーリング材]

日本向けに長寿命・低揮発の シーリング材で大型物件獲得

外装用には長寿命タイプ、内装用には低アウトガスシーリング材を提案し、大型都市開発物件、大型半導体工場などで採用され、新規受注も獲得しました。



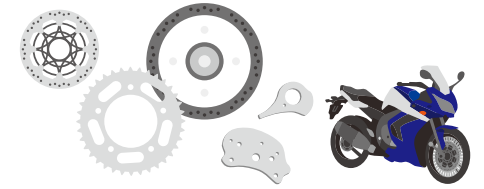
写真提供: キオクシア株式会社

中国でシリコン系シーリング材の販売拡大 材料承認が進み採用件数増加

デベロッパーや設計会社での技術交流等を通じて材料承認が進み、華南エリアの著名物件でシリコン系シーリング材のSR2518、同難燃タイプSR2519の採用を獲得。シリコン系シーリング材の売上が倍増となりました。



Material Core



[バイク用・自動車用 金属部品]

米・中・欧州向け大型バイク用 ブレーキディスクの受注が拡大

米国、中国、欧州で大型バイク向けのブレーキディスク受注が拡大しました。中国メーカー向けには、ハイグレード品であるアルミハブフローティングブレーキディスク受注が3品種に拡大、新たにブレーキパッドの供給も開始しました。



レース用ブレーキディスク 日本・中国で販売拡大

日本では、欧州サンスターのBRAKINGブランド製品と日本のレース用ブレーキディスクの技術を融合させレース用に供給して好評を得ていたEPTAディスクをバイク愛好家向けに販売開始。中国でもアルミハブフローティングブレーキディスク10品種を販売開始しました。



Material Core

ヤマハ発動機から 「グローバル優秀品質賞」を受賞

バイク用ブレーキディスク、スプロケット(歯車部品)の主要な顧客であるヤマハ発動機からグローバルすべての拠点において、品質改善策の横展開など含め、品質成績と活動の両面から優秀と認められたサプライヤーに授与される「グローバル優秀品質賞」を受賞しました。



タイ・インドネシアで自動車用 金属部品の受注が拡大

金型加工技術の向上により、ファインブランキング、高速プレスなどの設備で生産される自動車用部品の受注が拡大。新たな欧米顧客も獲得しました。



E-Science

[室内空気質改善事業]



日本でペットオーナー向けに 顧客接点を拡大し販売が伸長

日本でペット用除菌脱臭機QAIS-air-04の設置性を高める専用スタンドの発売、ネット販売サイト出店先拡大、ペット展示会出展、ペットと泊まれるホテルでの実機展示、ホームセンターでの販売開始など、顧客接点を広げ、販売が伸長しました。



米国・中国でペット用機種を販売開始 米ペット脱臭機部門イノベーション賞受賞

2023年春より米国・中国でペット用除菌脱臭機QAIS-air-04を発売開始。米国では画期的な製品に送られる2023 Pet Innovation Awardのペット脱臭機部門賞を受賞しました。



Well-being & ESG

Initiatives

サンスターのWell-being&ESG経営における2023年度の成果の中から、今回のレポートではE(環境)・S(社会)領域の主な内容を紹介いたします。










より詳しい内容についてはWebサイトをご参照ください
⇒ <https://www.sunstar.com/sustainability>



ESG Environment [環境]

環境中長期目標に対する2022年度※までの達成度(下図)と、2023年度の成果を次のページで紹介いたします。

環境中長期目標

	2030年目標	2021年達成度	2022年達成度
① 容器・包装材のプラスチック： 植物由来／リサイクルプラスチック 使用比率向上 	50%	5%	6%
② 使い終わった容器・包装材： リサイクル／リユース可能な 材料比率向上 	100%	73%	68%
③ 容器・包装材に使う紙： FSC®等の森林認証紙比率向上 	100%	53%	70%
④ 製品に使うパーム油： RSPO等の持続可能認証比率向上 	100%	9%	14%
⑤ 自社工場・事業所で使う電力： 再生可能電力(CO ₂ フリー電力) 比率向上 	100%	26%	27%
⑥ 自社工場で使う水： 生産量あたりの水使用量削減 	-20%	1%	9%
⑦ 自社工場で排出するCO ₂ ： 総排出量削減 (Scope1+2) 	-85%	-22%	-21%

※ 2023年度の数値は現在集計中。



2023年度の活動成果

● 容器・包装材の環境負荷低減の取り組み

欧州では2023年のG・U・Mブランド売上の53%の製品パッケージに70%以上の再生材を採用しました。日本では、液体ハミガキ、洗口液13品目のボトルを2023年7月より石油由来プラスチックから植物由来原料30%配合のバイオマスPET(ポリエチレンテレフタレート)に切り替えました。今後も石油由来のバージン樹脂の使用量を削減しCO₂排出量の削減につなげます。



● 生物多様性保全の取り組み

消費財事業のドイツ工場では森林保護団体への寄付を行ったほか、インドネシア工場の社員はマングローブの植樹に参加。タイ工場では社員が敷地内に木を植える取り組みを行いました。



インドネシア



タイ

● 自社工場での太陽光発電導入の取り組み

消費財事業のドイツ、日本の工場に加え、新たに生産財事業のドイツ、シンガポールの工場に太陽光発電パネルを導入しました。ドイツ工場には910枚、シンガポール工場には880枚の太陽光発電パネルを設置し工場で使用する電力の約3割～5割を自家発電による再生可能電力(CO₂フリー電力)で賄っています。今後も再生可能電力比率を向上し、CO₂排出削減に努めます。



ドイツ(生産財)



シンガポール(生産財)

● 廃棄物削減の取り組み

日本では、徳島工場内で繰り返し使用し劣化したハブラシ搬送用のプラスチックトレーを回収してトレーに再生する取り組みを実施。タイ工場では工場内で集めた使用済ペットボトルやキャップを回収し、リサイクル資源として活用する取り組みを始めました。



日本



タイ

ESG Human Resources [人財]

多様な価値観を認め合い、
時代の変化に合わせ進化し続ける人財・組織づくりを進めています。



SUNSTAR グローバル人事方針

[人事のありたい姿]

- ① 働きがいと働きやすさの高い活気あふれた職場をつくる
- ② 多様な価値観を認め合い、変化に合わせ進化し続ける集団をつくる

[人事の使命]

- ① 個人と組織のWell-beingの向上
- ② 競争力の高い自律型Professional集団への変革支援
- ③ 多様な個が融合するTeamwork 経営推進

[人事の戦略]

- ① エンゲージメントの強化
「働きやすさ」と「働きがい」の追求によるエンゲージメントの最大化を図る
- ② 組織と個人の能力向上
自律型キャリア形成を支援し、従業員一人ひとりの専門性と組織の成長を実現する
- ③ 変革の推進
多様な個のポテンシャルを引き出すとともに、後継者育成計画を通じて事業戦略に連動した人財マネジメントを徹底する

●個人と組織のWell-being向上のために

サンスターループでは、従業員のWell-being向上と事業の持続的発展を実現するため、2023年1月に「SUNSTARグローバル人事方針」を定めました。グローバル共通の人財マネジメントのビジョンを示し、すべての人事施策の拠り所とすることで、新たな価値を創造し続ける人財マネジメント実現を目指します。

●競争力の高い自律型Professional集団への変革支援のために

社員の成長支援として、欧米、日本ではEラーニングのプラットフォームを導入。様々な教育コンテンツを提供し、自律したキャリア形成のための教育プログラムを実施しています。また、サンスターサミットなどのデジタルトランスフォーメーションプログラムを通じてビジネス変革を加速させるとともに、業務の最適化とコスト削減を図っています。その他、地域を越えた研修生の派遣など、人財交流も積極的に行っています。



●多様性が融合するチームワーク経営推進のために

企業文化への共通理解を深め、国を超えたより良いコミュニケーションを深める「サンスターコネクト」を欧州で毎年開催しています。スイスでは国際女性デーに女性社員にとっての職場での課題について意見交換を行う朝食会を行いました。シンガポールでは会社発祥の地である日本文化への理解を深めるワークショップを開催しており、2023年にはバンコクやジャカルタでも新入社員を対象に実施しました。



スイス

シンガポール

●社員の健康増進とパフォーマンス向上のために

社員の心身の健康増進を支援するプログラムを実施しています。スイスではピラティスレッスンを毎週開催、ドイツでは、スポーツイベントや身体を効果的に動かす運動の動画配信などを実施。日本でも、足腰の強化に重点を置いた「サンスター体操」をオフィスで毎日実施しているほか、女性の健康課題に関するセミナーを実施しました。これらの取り組みから、サンスターは日本で「健康経営優良法人」に7年連続で認定され、2023年には上位500社からなる「ホワイト500」にも選ばれました。



日本



スイス

ドイツ

ESG Partnership [パートナーシップ]

地域コミュニティにおける健康支援、歯科口腔保健の推進や、口腔と全身の健康の関連性についての啓発や研究支援を行っています。



● 人道的支援・災害支援

ドイツでは、ウクライナの子どもをはじめ現地へオーラルケア製品の寄付を行いました。中国では、新型コロナの対応にあたる医療従事者の健康維持に役立つために洗口液を10拠点超える医療機関へ寄付しました。サンスターでは、感染症流行期だけでなく日常から口腔衛生を保つ大切さを伝える健康啓発もおこなっています。日本では、医療従事者の支援を目的としたヘアスプレイの提供および寄付のキャンペーンを実施しました。



日本



ドイツ



中国



中国

インドネシアでは、気候変動による干ばつに見舞われた地域へ清潔な水を届ける給水支援活動を行いました。被災地支援を目的とする赤十字の募金活動にも参加しました。



インドネシア

● 地域貢献

アメリカでは工場敷地内に有志社員で畑をつくり、育てた作物を地域のフードバンクに寄付する取り組みをはじめました。メキシコでは、低所得層に該当する糖尿病患者とその家族を非営利市民団体Mexican Diabetes Associationを通して支援し、学術的な臨床ケアの提供をはじめ、ワークショップや情報提供などにより生活の質の向上のサポートをしました。



米国



メキシコ

● 歯科口腔保健の発展、口腔と全身の健康の関連性啓発

米国サンスターと米RDHマガジン主催で歯科衛生士の優れた活動を表彰する「Sunstar / RDH Award of Distinction」は2023年に22年目を迎えました。また、サンスター財団は世界保健機関(WHO)に協力する形で新興国へのハブラシの寄付活動を継続しており、2023年にはパラオ共和国へ12万本のハブラシを寄付したほか、全国の小学校でのブラッシング指導の効果検証に協力しています。さらに、口腔と全身の健康の関連性を研究する若手研究員への留学助成「金田博夫研究助成基金」の贈呈を毎年行っており、2023年も2名の研究者に助成金を贈呈しました。



米国



日本

